

センター通信

「まちなかミマモルメ」ボランティアにご協力ください！！

～子どもや認知症高齢者を見守ります！！～



伊丹市安全・安心施策推進班

班長 柘村 義則

近年、全国で子ども達が巻き込まれる痛ましい事件がマスコミ等で頻繁に報道されています。また、伊丹市内におきましても不審者（声かけ、つきまとい、わいせつ事案等）の出没やひったくり、オレオレ詐欺など、子ども達をはじめ市民の皆様の安全・安心を脅かす事案が市内全域で発生しています。

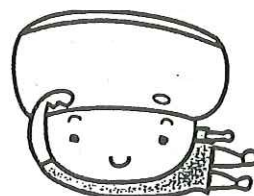
伊丹市では、これまで地域の見守り活動など、市民の皆様のご協力を得て、子ども達が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進してきました。しかしながら、人による見守りでは時間が限定されます。そこで、通学路を中心に、24時間有効な犯罪への抑止効果のある対策をとる必要があると考え、安全・安心見守りネットワークを整備することになりました。

この安全・安心見守りネットワークを使って、市民の皆様に安心して子ども等の外出を見守っていただけるよう、小型の発信器により居場所を保護者にお知らせする「まちなかミマモルメ」の運用を今年3月より一部開始しています。1,000台の安全・安心見守りカメラに合わせて設置する定点受信器（来年3月までに設置完了予定）と市民ボランティアのスマートフォンにより、見守りを行う仕組みです。ご協力いただけるボランティアの数が多ければ多いほど、子ども達の見守りが充実し、安全・安心なまちの実現に近づくことができると考えます。

この新たなICT技術を使った見守りと、これまでの人による見守り活動が合わさることで、笑顔あふれる、安全・安心な伊丹市になることを目指しておりますので、多くの市民の皆様に、積極的にボランティアにご協力いただきますようお願いいたします。

●「まちなかミマモルメ」とは

- ①家から外出したことがわかる
- ②外出すれば1,000カ所の定点センサーで検知することが可能
- ③スマートフォン用の「ボランティアアプリ」により、ダウンロードしていただいた市民等のスマートフォンが移動式のセンサーとなり、行方不明となっている子ども等を検知することが可能



安全・安心見守りキャラクター

アッチャン

「まちなかミマモルメ」 ボランティアにご協力いただくには

★スマートフォンをご利用の方

スマートフォンをご利用の方であれば、無料アプリをダウンロードし、ボランティアにご協力していただくことになります。(アプリのダウンロードや検索時の通信費用はご利用の皆様の負担となります)

このアプリは、広く誰にでも協力いただけるよう個人情報を一切取り扱わない仕組みになっています。

万一、検索が必要となった場合に、保護者が「まちなかミマモルメ」のアプリを通してボランティアに検索の協力要請をすることができます。

協力要請を受けたボランティアは、アプリを起動させ、スマートフォンを持って外出していただくだけで、行方不明者とすれ違った時にスマートフォンが反応し、そのスマートフォンが発見場所を自動で家族にお知らせします。

★フィーチャーフォン(ガラケー)をご利用の方

スマートフォン対応のアプリを使えないため、市から、行方不明者捜索情報依頼メール「さがしてメール」を配信しています。事前にご登録(無料)いただくことで、行方不明者の協力要請を受信することができますので、ご協力ください。(メールの受信費用はご利用の皆様の負担となります)

【さがしてメールの登録方法】itami@emp.ikkr.jpへ空メールを送信。市からの返信メールに従い必要情報を入力。

★「ボランティアアプリ」のダウンロード 「さがしてメール」の登録

はこちらから →



伊丹市少年補導委員全体研修会

8月25日(木)午後7時から、総合教育センター2階研修室において、少年補導委員の全体研修会を実施しました。今回は、それぞれのブロックで行っている補導活動について、小グループに分かれ情報交換を行いました。以下、一部を紹介します。

- ◇子どもに毎日声かけをしていると、自然に子どもから声をかけてくるようになった。
- ◇夏祭りでパトロールをした際、タバコを吸っている中学生に威圧的に注意をしてしまった。今日の研修で声かけの主旨と方法を学ぶことができた。今後に生かしていきたい。
- ◇小中学校とそのPTAとの連携が必要だ。情報交

10月の主な行事

- 1日(土) 市内小学校体育大会
- 7日(金) 伊丹市少年補導委員連合会役員会・定例理事会
- 11日(火) 少年を守る日 市内広報・一斉補導
- 14日(金) 合同教育相談

換会や合同パトロール、朝の挨拶運動など、子どもたちに補導委員の顔を覚えてもらうためと、子どもたちを知るため、地区活動をスムーズにするためにも必要だと思う。

◇以前のように「明らかに 非行少年」という少年たちは大幅に減少した。しかし、びっくりするような大事件は、しばしば起きている。補導パトロールは、非行少年を捜すあるいは注意する等を優先するより、ごくありふれた行動が大切になってきているように思う。朝のあいさつ等の少年たちと接するような行動から、人とのつながりを少年たちとともに考えることも重要になっている気がする。

◇登下校時の見守り・声かけも大切だと感じた。声かけは、やさしく親しみを持てるように心がけ、どこかで出会った時も話しかけてくれるような関係になれるとうれしい。

少年補導委員さんには、今回の研修で得られたことを生かし、今まで以上に積極的な声かけをしていただけることと思います。市民のみなさんも子どもたちへの見守り活動にご協力をお願いします。

◆街頭補導の件数 暫定値 《平成28年9月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	678	100	175	202	1,155
あいさつ	636	104	200	305	1,245
遊びに関して	6	0	0	4	10
ぐ犯・不良行為	0	0	0	0	0
交通に関して	14	8	30	58	110
計	20	8	30	62	120

◆電話・来所相談の件数 暫定値 《平成28年9月》

	電話相談	来所相談
件数	26	0
前月比	+7	-4
累計	96	18

◆有害図書類回収状況 暫定値 《平成28年9月》

	数量	前月比	累計
有害図書	211	-64	3,254
有害DVD等	321	+56	
計	532	-8	

白ポスト設置場所(市内16カ所)

裁判所前、JR北伊丹駅駐輪場、バラ公園バス停、荒牧バス停
北センター前、中野西公園、山田バス停、車塚公園内
阪急稲野駅、南センター前、阪急新伊丹駅、女性児童センター
阪急伊丹駅、いたみホール、西桑津バス停、JR伊丹駅1階

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel:780-3540)までお寄せください。